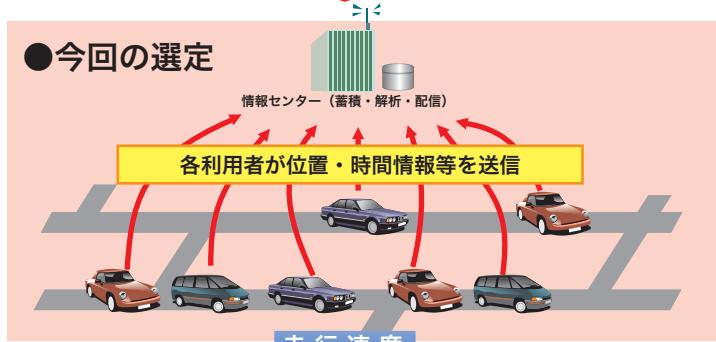
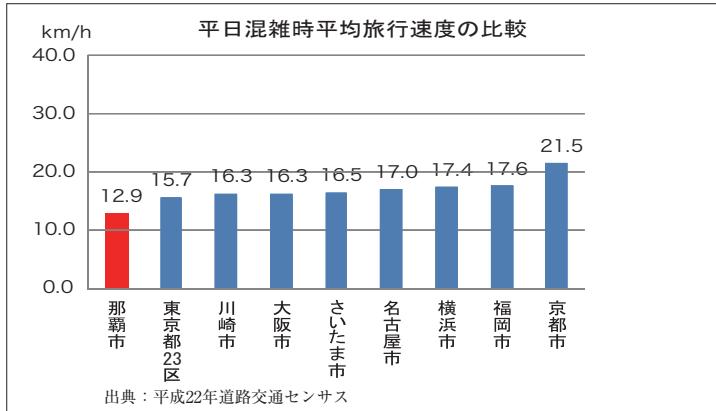
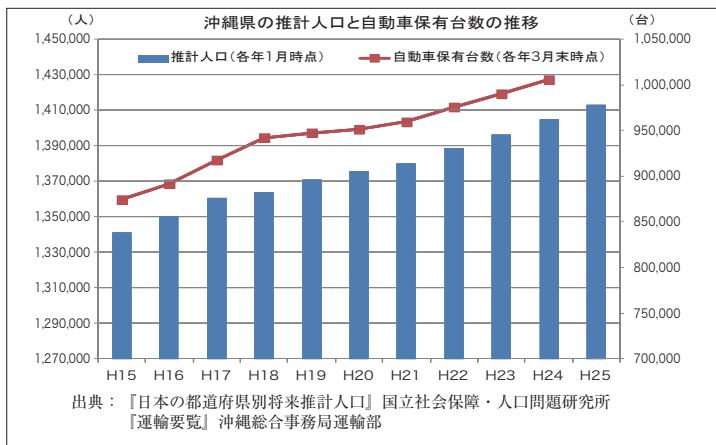


開発建設部



沖縄県は人口、自動車保有台数が増加傾向にあり、那覇市内の平日混雑時平均旅行速度は政令指定都市と比べても低く、全国ワースト1位となつ

ています。沖縄県では至る所で渋滞が発生しており、今後の人団、自動車保有台数の増加に対応するためにも、迅速な渋滞対策が必要となっています。

1 沖縄県の道路を取り巻く状況について

Point

沖縄地方渋滞対策推進協議会において、県内の主要渋滞箇所を特定します。今後、渋滞対策の検討を行い、改善を目指します。

2 県内の渋滞箇所の抽出方法について

これまでの渋滞箇所の抽出方法としては、渋滞長、交差点通過時間にて特定していましたが、今回は、実走行している自動車のカーナビ等から得

られた自動車位置、時間等の情報を、リアルタイムに収集・蓄積されたデータ(民間プローブデータ)を活用して、渋滞箇所を把握しました。

3 県内の主要渋滞箇所について

民間プローブデータで取得した旅行速度などの客観的データに加え、関係機関で構成する沖縄地方渋滞対策推進協議会においての意見及びパブリックコメントも実施することで地域の実感とあつてあるか確認し、主要渋滞箇所を特定しました。



浦添市牧港

那覇新都心

- 一般道路 191箇所
(29区間 131箇所)、60箇所
- 高速道路 7箇所
(31箇所)

○主要渋滞箇所

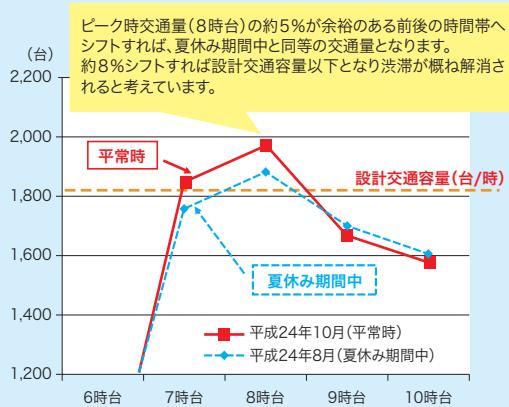
○ソフト施策の一例…時差出勤の拡大（利用時間の分散）
道路が渋滞している時間帯を避けて、その前後に移動時間帯を変える施策です。



○ハード施策の一例…豊見城東道路、糸満道路



例) 国道329号(壺川) 平日時間別交通量



4 今後のスケジュールについて

ワーキンググループ（北部地区、中南部地区）及び沖縄地方渋滞対策推進協議会にて議論を行い、渋滞対策の公表を行います。

主要渋滞箇所の特定

H25・1

ワーキンググループ（関係機関協議）

H25・2 第1回開催 中南部地区

沖縄地方渋滞策協議会

H25年6月頃

H25・2以降必要
に応じて開催

